

表2 平成18年12月31日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計^{*1}

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,504	479	1,983	297	713	1,010	1,801	1,192	2,993
	同性間の性的接触 ^{*2}	3,469	1	3,470	230	0	230	3,699	1	3,700
	静注薬物濫用	18	1	19	20	2	22	38	3	41
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 ^{*3}	94	29	123	27	17	44	121	46	167
	不明	532	66	598	279	496	775	811	562	1,373
	HIV合計	5,630	584	6,214	857	1,235	2,092	6,487	1,819	8,306
AIDS患者	異性間の性的接触	1,192	142	1,334	210	150	360	1,402	292	1,694
	同性間の性的接触 ^{*2}	1,049	1	1,050	90	2	92	1,139	3	1,142
	静注薬物濫用	11	2	13	18	0	18	29	2	31
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*3}	67	14	81	16	8	24	83	22	105
	不明	582	58	640	278	127	405	860	185	1,045
	AIDS合計 ^{*4}	2,910	220	3,130	613	291	904	3,523	511	4,034
凝固因子製剤による感染者 ^{*5}	1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438	

*1 平成17年までは確定値、平成18年は平成18年12月31日現在の速報値である。

*2 両性間性的接触を含む。

*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

*5 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成18年12月31日)	226名
エイズ予防法 ^{*6} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*7}	592名

*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*7 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の報告数